

# ドロップ・サイト・デイリー、3月9日：原油価格が乱高下、製油所が打撃を受け出荷停止に；ホワイトハウス、イラン戦争での徴兵制を否定せず；トランプ大統領、チケットマスターを救済

脇浜義明訳 \*脚注は訳注

## イラン戦争

**\*米・イスラエルのイラン空爆10日目**：米とイスラエルは9日もイランへの爆撃を継続、テヘランや南部の都市で大爆発があったという報告。イスラエル軍は「テヘラン、エスファハーン、およびイラン南部全域に大規模連続攻撃」を開始したと発表した。週末にはイスラエル軍はイマーム・フセイン大学キャンパスなどインフラ施設を標的に爆撃した。インターネットで拡散している映像には、テヘランのメヘラーバード空港付近の火災と煙や、爆風で市西部の建物の窓ガラス飛び散る様子や、地下駐車場に避難したとBBCに語る住民の姿が映っている。テヘラン空爆は、中心部の歴史的な官庁街のアルグ広場近くの司法府と最高裁がある複合施設内の多くの建物に被害を与えた。

**\*イスラエル軍がイラン石油施設攻撃後、テヘランで「黒い雨」が降ったという報告**：3月7日、イスラエル軍はテヘラン市内及び近郊の燃料貯蔵庫やその他の石油インフラを爆撃したため、テヘランで数時間に渡って大規模な火災が続いた。イスラエル・メディアのチャンネル14によると、イラン最大の製油所の巨大貯蔵タンク約30基が標的攻撃され、首都南部のシャフル・エ・レイ製油所が炎上し、カラジのファルディス石油貯蔵所では爆発が起きた。大量の有毒炭化水素とガスが放出され、イラン当局によると、放出したガスと煙が雨水と混ざって強酸性の「黒い雨」が発生、皮膚の火傷や呼吸困難を引き起こす恐れがあると警告した。火災による濃い煙が市内の一部が暗くなり、厚い煙が空を覆い、「核の冬」のような状況になっているという報告もある。イラン当局によると、油に汚染された雨水が屋根や道路を油性の煤で覆い、ニッケルやバナジウムなどの重金属が含まれているので、土壌や水系への長期的汚染が心配される。イラン赤三日月社は住民に対し、食品をむき出しにしないよう、腐食性雨水との接触を避けるように勧告した。イスラエルがテヘランとその周辺少なくとも5つのエネルギー施設を攻撃したことを受け、イランは報復として近隣諸国の石油施設を攻撃すると警告した。イラン国営メディアは、革命防衛隊（IRGC）の報道官が米国とイスラエルが民間人石油施設を標的にしていることを非難し、親米・親イスラエルの湾岸諸国に石油施設攻撃をやめさせるように動けと警告した。「原油価格が1バレル200ドルを超えても我慢できるなら、このゲームをつづければよい」と報道官は言った<sup>1</sup>。

**\*原油価格急騰、株価下落**：戦争の影響で生産と輸送が脅かされて、原油価格は1バレル120ドルに急騰、2022年のロシアのウクライナ侵攻以来初めて100ドル台を超えたが、9日には88.96ドルに下がった。9日、フランスのマクロン大統領は「戦略的備蓄を使うのは想定されていた選択肢だ」と述べ、原油価格高騰への対応を調整するために今週にG7首脳会議を開くかもしれないと言った。9日には、日経平均株価の5%以上の下落を筆頭に欧州の株価も2%から3%下落するなど、世界株式市場が下落した。

**\*バーレーンとクウェートの石油会社、不可抗力宣言**：9日バーレーンの国営石油会社は異常事態を理由に自社製品の輸送に関し不可抗力を宣言し、契約上の義務の免除を主張した。クウェート石油公社も、戦争の影響で生産量と精製処理量を削減、不可抗力宣言を行った。クウェートの国家石油部門の代表は、8日、ホルムズ海峡の船舶通航がほぼ停止しているのは地域の地政学上前例のない事態で、海峡が通行できない事態は80年間なかったと指摘した。彼は、「ホルムズ海峡の船舶航行が事実上ゼロになった日が5、6日もあった。世界の石油供給の20%がホルムズ海峡を通ることを思えば、これは由々しいことである」と述べた。

**\*淡水化プラントが攻撃対象**：イランのアラグチ外相は週末の報道者への声明で、米・イスラエル連合軍がゲシュム島の淡水化プラントを攻撃したことを非難した。これによって30の村落への給水が破壊され、「露骨で残忍な犯罪」だと述べ、このような民生活インフラへの攻撃には「重大な結果」を招く反撃をすると警告した。8日、バーレーン内務省はイランのドローン攻撃で淡水化プラントが物的損傷を受けたと発表した。

---

<sup>1</sup> イスラエルは石油施設攻撃を事前に米国に連絡していたが、米国は規模の大きさに驚いて、「何てことをしたんだ」というメールを送ったと言われる。

**\*イラン、モジタバ・ハメネイ師を最高指導者に：**米・イスラエル攻撃初日に殺害されたアリー・ハメネイ師の息子のモジタバ・ハメネイ師が最高指導者に指名されたと、イラン国営テレビが9日早朝に報じた。6日にイラン高官は、ドロップ・サイトのインタビューで、イランは新最高指導者が発表されるまでは米国や仲介者との[交渉はしない](#)と言っていた。

**\*死傷者数：**6日にイラン赤三日月社が少なくとも1, 332人が死亡したと発表して以降、新たな死者数の発表はない。赤三日月社は、先週以降の米・イスラエルの攻撃で、イラン全土で住宅、学校、約30の医療施設を含む1万以上の民間施設が被害を受けたと発表している。

**\*米・イスラエルの攻撃ペースは記録的で、イスラエルのガザ戦争開始時の2倍の規模：**エアーウォーズの[調査](#)によると、イランへの爆撃開始の数日間の攻撃規模は、近年米国やイスラエルが行った軍事作戦よりも大規模で、多くの施設を標的としたことが明らかになった。調査報告は、「イスラエルの10月7日から始まった前例のない激しいガザ攻撃数日間、今回のイラン攻撃最初の数日間と比べて、攻撃された標的は半分であった」と述べている。「米国とイスラエルは、100時間でイランを攻撃した標的の数は、いわゆる「イスラム国」に対する米国主導の連合軍による爆撃作戦の最初の6か月間よりも多かったと発表した。」調査分析はさらに、標的攻撃の攻撃の頻度が標的選定におけるAIの役割にも疑問を投げかけていると指摘し、アントロピック社のクラウドAIが米軍全体に導入されているとも報告している。

**\*イランの反撃、湾岸諸国へ：**7日早朝イラン軍は、海軍が湾岸地域の米軍とイスラエル軍の基地や拠点へ大規模ドローン攻撃を行ったと発表した。イラン軍によると、攻撃対象は、米軍が駐留するアブダビのアル・ミンハド基地とクウェートのキャンプ・アリフジャンとイスラエルのセドット・ミハ基地のレーダー施設など。AFP通信によると、ドバイとマナーマでも爆発があった。7日にはカタールにも攻撃があったという[報告](#)があり、ドバイ空港へのドローン攻撃で、アラブ首長国連邦の空域が長時間閉鎖されていたのがやっと再開されたのに、ドバイ空港の運用が一時中断となった。クウェート政府が防空体制強化を発表したが、クウェート国際空港の燃料タンクが8日にドローン攻撃を受けたと報じられた。クウェート内務省は治安部隊員2人が死亡したと発表した。8日、サウジアラビア民間防衛局は、「軍用飛行体」がアル・ハルジの住宅地に着弾し、インド人とバングラデッシュ人整備作業員2人が死亡し、12人が負傷したと発表した。当局は、この飛行体がイランのものだと、当初発表しなかった。

**\*イラン、クルド人攻撃：**イラン革命防衛隊は、ミサイル部隊がイラクのクルディスタン地域のクルド人分離主義グループの拠点3か所を攻撃したと発表した。ドロップ・サイト特派員のアレクシス・ダルーミスの報告によれば、イラク地元チャンネル8が、イラクのスレイマニアでは、ザークウェザーラ地区にあるイラン・クルディスタンのコマラ本部への攻撃など、いくつかの爆発があったと報じた。

**\*バーレーンで民間人死傷者増加：**バーレーンのアル・アブダル・メディア・ネットワークによると、マナーマの南にあるトラ島にミサイルが着弾し、数軒の家屋が損壊し、32人の民間人が負傷し、そのうち4人は重体である。内務省は、住宅地を攻撃した「イランの露骨なドローン攻撃」が加害者であると言った。ネットに拡散している[動画](#)や現地報告によると、これは、飛来するドローンの迎撃で発射したパトリオット迎撃ミサイルが落下した事故である可能性がある。現実には、8日、迎撃ミサイルの残骸がムハラク地域に落下して、3人が負傷、大学校舎が損壊したというバーレーン高官の発表がある。

**\*イラン、タンカーをホルムズ海峡で攻撃し、米国の「護衛」を歓迎すると皮肉：**米国がホルムズ海峡を通行する船舶を「護衛する」と発表したことを受け、ホルムズ海峡通行禁止と危険な状況に関するイラン革命防衛隊の警告を無視して通行しているタンカーがある。7日、タンカー「プリマ」がドローン攻撃を受けた。イラン当局は、プリマ号が何回も警告したにもかかわらず運行を強行したので攻撃したと発表したが、その後同船が損傷を受けたのか、進路を変更したのかには言及しなかった。イランのハタム・アル・アンビア防空軍司令官は、米国のホルムズ海峡通過タンカーを護衛するという声明を、皮肉を込めて「歓迎する」と述べ、イラン軍は「待っている」と付言した。

**\*PUK 指導者、イラン戦争への参加に難色：**3月1日にトランプ大統領は、クルド愛国同盟 (PUK) のバフェル・ジャラルール・タラバニ指導者と、クルド民主党 (KDP) のマソウド・バルザニ指導者と、それぞれ電話会談を行い、米・イスラエルに加わるか、それともイランに加わるかの選択を迫ったと、ワシントン・ポストが報じている。報道によると、米国・イスラエルは、イラクのクルド人勢力にイランのクルド人グループを支援させて、イラン西部に第二戦線を開くことを検討

しているという。トランプ大統領は7日には、「(クルド人の参戦)は当てにしていない。クルド人の介入を望んでいない」と記者団に言っていたのだが。

**\*トランプ大統領、イランは民主主義国になる必要はないと発言：**3月7日、トランプ大統領は、CNNとNBCニュースに対して、米・イスラエルのイラン戦争の後にイランが民主主義国になるかどうかには関心がないと述べ、イランに必要なのは米国とイスラエルを大切に扱う「公正で正しい」指導者だと言った。彼は、「穏健派シーア派指導者」となら協力し合えると述べ、イランの将来の指導層の形成や影響力行使に一役担う意向を示唆した。彼は、故アリー・ハメネイ師の息子で、新しく後継者の選ばれたモジタバ・ハメネイ師の最高指導者就任を拒否した。

**\*イラン、ドローン攻撃でヨルダンの米軍 THAAD レーダーを破壊：**米軍当局者と CNN が確認した衛星画像によると、7日イランのドローン攻撃によって、ヨルダンのムワッフアク・サルティ空軍基地にある米軍の THAAD (終末高高度地域防衛) システムが使用する AN/TPY-2 レーダーが破壊された。このレーダーは弾道ミサイル追跡と THAAD の迎撃ミサイルの誘導には欠かせないものである。この喪失のために、ミサイル迎撃任務がパトリオット中隊に移されることになるが、パトリオット中隊の PAC 迎撃ミサイルの在庫が少ない。フォーリン・ポリシー誌が引用した専門家によると、米国の THAAD 砲台は世界で僅か8台で、1台当たり約10億ドルの費用がかかる。また、戦争初期にカタールで損傷した別の先進レーダーの AN/FPS-132 の高官には5～8年間の期間と約11億ドルかかると言われている。

**\*トランプ大統領、ミナブ女子小学校を破壊したのはイランだと言明：**ミナブ女子小学校を攻撃して児童を大量殺害したのは米軍爆撃だという証拠が次々と出てくる中、トランプは、175人の児童を殺害したミナブ女子小学校を米軍が爆撃したという報道を否定し、「エアーフォースワンで私が見た限りでは、イランによるものだ」と言った。この発言は、調査機関ベリングキャットが新たに公開されたビデオ映像はこの攻撃がイランが行ったと言う主張を覆していると発表したにもかかわらず、なされた。イランの半官半民の通信社メフルが8日に配信した3秒間にビデオには、爆弾が建物に落下するシーンが映っている。ベリングキャットのトレバー・バールはこの爆弾がトマホーク巡航ミサイルであると特定した。トマホークは米国のみが保有していることは周知の事実である。ニューヨークタイムズ紙もロイター通信のこれまでの報道は、女子小学校攻撃は米軍が行ったと指摘している。

**\*イラン、もはや一時停戦は受け入れないと表明：**イランのアラグチ外相は8日、NBCニュースに対し、イラン政府はもう一時停戦を検討する気はないと言った。以前の停戦はイランだけに停戦を押し付け、米とイスラエルの戦争再開を許しただけだったと言った。戦争終結の条件について質問されると、アラグチ外相は「まだその段階に達していない」と述べ、もし停戦というならイランは永続的終結を求めており、永続的平和をもたらさない停戦には応じないと付言した。アラグチ発言は、イランのマスード・ペゼシュキヤーン大統領が近隣諸国への攻撃をやめるようにと軍に命じたと曲解された大統領発言をイラン軍が取り消し、トランプの「誤解」を非難した背景でなされた。

**\*米国、外交官にサウジからの退去を命令：**ニューヨークタイムズ紙によると、イラン戦争が激化し、安全保障上の懸念が高まる中、国務省はサウジアラビアに駐在する米国外交官に国外へ退去するように、8日に指示した。さらに9日には、トルコ南部のアダナにある米国領事館から、緊急要員以外の職員とその家族に退去を命じた。

**\*トランプ、戦争終結はネタニヤフと相談して決定すると発言：**トランプ大統領は8日、タイムズ・オブ・イスラエル紙のインタビューで、イラン戦争の終結時期はネタニヤフ首相と共同で決定すると述べた。時期は「双方の都合」により、「適切な時期」に決定を出すと言った。彼はネタニヤフ首相の指導力を称賛し、自分とネタニヤフが戦争を通じて「協力し合った」と述べ、この戦争でイスラエルの存亡の危機が防がれたと主張した。さらに、イランはイスラエルを滅ぼす意図があったが、反対に米・イスラエル共同作戦によってイランの方が「滅ぼされる」ことになったと言った。

**\*米国、対イラン作戦に英軍基地使用を開始：**[アル・モニターの報道](#)によると、米国はイランへの軍事行動の特定作戦に英軍基地の使用を開始した。英国国防省は、イランによる基地周辺地域へのミサイル発射を阻止する「特定防衛作戦」に限定して使用を認めていると述べた。対象となる基地は、イングランド南西部のフェアフォード空軍基地と、インド洋のディエゴガルシア島にある英米合同基地など。

**\*サウジで負傷した米兵が死亡：**8日米中央軍は、3月1日にサウジアラビアの米軍へのイラン軍の攻撃で負傷した米兵1人が死亡したと[発表](#)した。これにより、イラン戦争の米軍兵戦死者は7人となった。他の6人は、3月1日のクウェートの港への攻撃で死亡した陸軍予備役兵だった。

**\*イスラエルで1人死亡：**イスラエルは3月9日に、イランのミサイル攻撃で男性が1人死亡したと発表。これにより、戦争開始以降の死者は11人となった。

**\*国連安保理で、イランに対する決議案を巡り対立：**安保理でバーレーンとロシアがイラン戦争に関する相反する決議案を提出して紛糾している。湾岸協力会議（GCC）を代表してバーレーンが提出した決議案は、イランの湾岸諸国への攻撃を非難し、それを国際法違反としているが、この紛争が米国とイスラエルによるイラン攻撃から始まったことには言及していない。一方、ロシアの決議案は特定の国を名指しせず、当事者すべてによる民間人及び民間インフラへの攻撃を非難し、エスカレーションの即時停止を求めるものである。この対立する決議案をめぐる紛糾は、3月5日にモスクワで開催された会合で、湾岸諸国の大使が、ロシアがイランに湾岸諸国を攻撃しないように圧力をかけるように求めたことを受けて、ロシアが、イランを名指しにするのを避けて決議案を提出したことがから生じた。

## レバノンへの攻撃

**\*イスラエルのレバノン攻撃で数十人が死亡：**イスラエル軍のレバノンのバアルベク地域のナビシート地区とその周辺の町々への空爆で、少なくとも41人が死亡し、40人が負傷した。イスラエル軍は同地域の空爆に加えて、レバノン軍兵に変装して地上侵攻も行った。この攻撃は7日早朝に、40年前にレバノンで行方不明になったイスラエル兵ロン・アラドの遺体を回収するためという口実で行われたが、侵攻したイスラエル軍特殊部隊はアラドの遺体を回収しなかった。地元住民とヒズボラ戦闘員が変装特殊部隊を発見し、衝突が発生した。その後、部隊の撤退を援護するために、イスラエル軍は数十回の空爆を行った。

**\*イスラエルのレバノン空爆は継続：**9日もイスラエルのベイルートやレバノン各地への空爆が続いた。9日、ヒズボラの非営利金融機関アル・カルド・アル・ハサン協会を攻撃するとイスラエル軍が発表した。8日の夜明けからイスラエル軍の攻撃で70人以上が死亡した。レバノンのデジタル・メディアのナハルネットによれば、南部の各地とベイルート市内への空爆、リタニ川北岸のシール・アル・ガルビエの建物へ夜間空爆で、少なくとも19人が死亡し、その大半が女性と子どもであった。シドンでは、イスラエル海軍のミサイルがアイン・アル・ヒルウェ・パレスチナ難民キャンプの北出入口付近を攻撃、住宅1棟を破壊、民間人と近くで駐在していたレバノン軍兵士らが負傷した。レバノン保健省によると、7日夜、イスラエル軍はベイルートのラマダ・ホテルを攻撃し、3人が死亡、9人が負傷した。イスラエル軍地上部隊は、南部のヒズボラのインフラ施設に対し、軍発表による「集中攻撃」を開始した。レバノン保健省によると、南部のタイール・デバの町とジュアイヤ村への空爆で、救急隊員2人が死亡、6人が負傷した。保健省は「救急隊への組織的な攻撃」を強く非難した。

**\*イスラエルのレバノン攻撃で1週間で83人の子どもが死亡：**レバノン保健省によると、イスラエルのレバノン攻撃の死者は少なくとも394人、負傷者は1130人になる。[ユニセフ](#)によると、少なくとも83人の子どもが死亡し、254人が負傷した。「この1週間で、1日平均10人以上の子どもが死亡し、約36人が負傷している」とユニセフが言った。

**\*レバノン避難民50万人：**レバノン社会省によると、この1週間でイスラエルの攻撃と避難命令で、51万7000人以上が強制避難を強いられた。UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）によると、約7万人のレバノン人が国境を越えてシリアへ入った。

**\*イスラエル、レバノンで白リン弾使用：**[ヒューマン・ライツ・ウォッチ](#)によると、イスラエル軍は南レバノンの住宅地を白リン弾を使った違法攻撃を無差別に行っている。「イスラエル軍の住宅地攻撃で白リン弾の違法使用は非常に憂慮すべきことで、民間人に悲惨な結果をもたらす」とヒューマン・ライツ・ウォッチのレバノン調査員ラムジ・カイスが声明の中で述べている。「白リン弾の焼夷効果は死亡や重症をもたらし、人に生涯にわたる苦しみを与える」と言った。

**\*レバノン、選挙を2年先へ延期：**レバノン議会は、イスラエルの攻撃に影響で、当初5月に予定していた議会選挙を2年間延期した。レバノン国営通信社によると、議員76人が賛成、41人が反対、棄権が4人の決議であった。ヒズボラの議員13人は延期に賛成した。

**\*イスラエル軍参謀総長、レバノン戦争の長期化を表明：**イスラエルのエヤル・ザミール参謀総長は8日、レバノン戦争は「長期化する」と述べた。軍は、南レバノンでヒズボラの夜間攻撃でイスラエル兵2人が死亡したことを確認した。レ

バノンとイランと戦争を開始して以来軍人の死亡が報告された初めてのケースである。ザミールは、イスラエル軍が「レバノンのイラン・クッズ部隊」を夜間攻撃したと発表し、「中東のどこにもイランの悪の触手が活動できる場所はない」と警告した。彼は、ヒズボラを「イランというタコの触手」と表現し、ヒズボラにイスラエル兵殺害に対する「大きな代償」を払わせると言った。

## ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

**\*死傷者数：**過去24時間で、イスラエルのガザ攻撃でパレスチナ人7人が死亡、17人が負傷した。これで2023年10月7日以降の犠牲者数は、死者72,133人、負傷者171,826人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる停戦の初日の2025年10月11日以降のイスラエルのガザ攻撃で648人のパレスチナ人が死亡、1728人が負傷した。瓦礫の下から回収された遺体は755体。

**\*イスラエルのハーン・ユニスへのドローン攻撃で父と娘が死亡：**イスラエル軍がハーン・ユニス市中心部をドローン攻撃し、パレスチナ人男性のアフマド・アルケドラが死亡し、幼稚園へ行く用意をしていた幼い娘のジュリアが重傷を負った。ジュリアはその後死亡した。

**\*8日のガザ回廊のパレスチナ人死者は7人：**アル・ジャジーラによると、8日、回廊中部のアル・サワラ地区にある避難民テントをイスラエル軍が空爆し、2人の子どもを含む3人が死亡し、10人が負傷し、うち3人は子どもであった。さらに、地元筋がドロップ・サイトに伝えたところによると、ガザ市西部のアル・アルハル大学近くへの空爆で走行中の自動車が被弾し、3人が死亡した。アル・ジャジーラによると、救急隊員アブドウルラフマン・ハムドゥーナ（31歳）が空爆で死亡し、近くにいた数人が負傷した。またアル・ジャジーラによると、アル・ザワイダの避難民テントへの空爆でカタル・ラジオの特派員アマル・アッシュマリ（46歳）が死亡した。

**\*西岸地区で入植者の襲撃でパレスチナ人3人が死亡：**パレスチナ人活動家イッサ・アムロによれば、8日武装した入植者がイスラエル軍に護衛されてアブ・ファラ村を襲い、村人3人を殺害した。タエル・ハマエル（24歳）とファレ・ハマエル（57歳）は入植者に頭部を撃たれ、モハメド・マーラ（55歳）はイスラエル軍が発射した催涙ガスで窒息死した。この襲撃は、米・イスラエルのイラン攻撃開始以来西岸地区で入植者暴力と占領軍による行動制限が激化する中で起きた。Wafaによると、先週は入植者と軍による一連の攻撃で、パレスチナ人8人が死亡し、225人が身柄拘束された。

## 米国ニュース

**\*チケットマスターズ/ライブ・ネーションへの反トラスト訴訟和解：**司法省が長年行ってきたチケットマスターズとその親会社ライブ・ネーションに対する反トラスト訴訟は今週も継続される予定だった。しかし、トランプ大統領が反トラスト部の責任者を解任し、和解させた。マット・ストーラーのメール・マガジン「[ビッグ・ニュースレター](#)」によれば、米国で最も非難されている企業の一つであるライブ・ネーションにとって、裁判の最初の週は不利な結果であった。州司法長官は同社をもっと追求する予定であった。ニューヨークタイムズ紙によると、ライブ・ネーションは、イベント開催者をチケットマスターとの独占契約で縛ることをやめ、競合プラットフォームでもチケット販売することを認め、またアーティストにも他のプラットフォームの利用を認めた。これは、検察側が求めていた最低限の条件だった。

**\*ホワイトハウス、徴兵の可能性を否定せず：**ホワイトハウスのキャロライン・リービット報道官はフォックス・ニュースの[インタビュー](#)で、徴兵の可能性を否定しなかった。元下院議員のマージョリー・テイラー・グリーンはツイッターでリービットを批判し、「『外国との戦争も外国に政権交代を迫らない』という公約を掲げていたのだから、当然徴兵もしない、地上部隊の派遣もしないと答えるべきだった。政府はみんな嘘つきだ！息子を戦場へ送るな！絶対そうさせないぞ！」と非難した。

**\*米軍、太平洋でまた船舶を攻撃、6人を殺害：**米南方軍の発表によれば、8日米軍は東太平洋で船舶を攻撃し、6人を殺害した。南方軍は攻撃の様子を撮影した[動画](#)を公開し、「麻薬密輸に従事していた麻薬テロリストの男性6人を殺害した」と説明したが、麻薬に関係していたと証拠を示さなかった。昨年9月以降、米軍は太平洋とカリブ海で数十件の船舶攻撃を行い、150人以上を殺害している。

\*トランプ大統領は、「アメリカの盾」(米州防衛同盟)首脳会議で、メキシコを麻薬カルテルの「震源地」と呼んだ：[トランプ大統領](#)はメキシコをカルテル暴力の「震源地」と呼んで、米国の介入の継続を示唆した。彼は、「メキシコのカルテルがこの半球における流血と混乱を煽り、画策している。米国政府は国家安全保障のために、必要と思われることは何でも実行する」と言った。現在議論されているのは、「邪悪なカルテルとテロリスト・ネットワークを完全撲滅するために、致命的な軍事力を使用する」という西半球諸国間の合意である。メキシコのクラウディア・シャインバウム大統領(「アメリカの盾」会議には参加していない)はトランプ発言を一蹴した。

\*トランプ政府、キューバとの経済協定の可能性を探る：8日のUSAトゥデイ紙は、米政府が水面下でキューバとの経済協定を検討していると報じた。経済協定には制裁緩和と米国人のキューバへの渡航制限の緩和や、港湾、エネルギー、観光分野の協力が含まれるだろうし、キューバ共産党の政権維持も可能となるだろう。しかし、「アメリカの盾」サミットでは、トランプ大統領が、「キューバはこれまでの姿では最後の時を迎えるだろう。そして新たな素晴らしい生活を得るだろう…それは簡単なことだ」と述べ、キューバを[脅迫した](#)。

\*コーパス・クリスティ市、水危機：テキサス州コーパス・クリスティ市は深刻な水不足に直面しており、貯水池の水の減少が続けば、テキサス州内の空港へのジェット燃料供給や、米国最大の石油港からの原油輸出に支障が生じるかもしれない。市当局は、まとまった降雨がなければ、数か月以内に市は水不足に陥り、来年には枯渇する恐れがあると言っている。そうなると、バレロ、フリント・ヒルズ・リソーシズ、シトゴなどの企業の大手製油所の活動が縮小しなければならない事態になるかもしれない。市の高官によると、最後の望みは20~30インチ(約50~76cm)の降雨、つまり「ハリケーン並み」の土砂降りだと言う。この件についてのテキサス・トリビューンの報告は[こちら](#)。

\*防衛関係請負業者、ICEから大型契約：連邦政府支出情報の公式データソースのUSASpending.govによると、米政府は3月6日、防衛関係業者のKVG LLCに対し、メリーランド州ウィリアムズポートの移民収容センターを建設して運営する1億1,310万ドル相当の[契約を交わした](#)。政府調達記録によると、KVG LLC社はこれまで移民収容施設に関する契約を連邦政府と交わしたことは一度もない。

\*ジューイッシュ・インサイダー、ダン・オズボーンのネブラスカ州上院議員選挙への無所属出馬に注目：AIPACなど親イスラエル団体の資金支出計画の先行指標となることが多いメディアの『[ジューイッシュ・インサイダー](#)』は、7日、イスラエルに批判的な候補者を支援するPAC(小委員会)ニュー・ポリシーから支持を受けたオズボーンを批判した。このニュー・ポリシーPACは、米政府のガザ・ジェノサイド支援に抗議して辞任した元国務省職員によって設立されたもの。ジューイッシュ・インサイダーは、現職共和党上院議員ピート・リケットらが支持する米・イスラエルのイラン戦争を、オズボーンが批判した発言を取り上げて、オズボーン攻撃を行っている。

\*最新世論調査でグラハム・プラトナーがスーザン・コリンズを追い抜き、ジャネット・ミルズが3番手：保守系調査会社カンタス・インサイトの最新世論調査によると、メイン州上院議員選で、ニュー・ポリシーPACの支持を得ているグラハム・プラトナー(民主党)が現職のスーザン・コリンズ(共和党)を7ポイントリードしている。一方現職知事のジャネット・ミルズ候補はコリンズよりポイント下の3番手である。この世論調査は、ワシントンの民主党主流派がプラトナー支持を阻もうと攻撃があった後に行われた。世論調査では、プラトナーは民主党本部支持のジャネット・ミルズを5ポイントリードしている。

\*トランプが支持するノースカロライナ州議会上院の指導者フィル・バーガー、失脚：公式発表されていないが、ノースカロライナ州上院で長く指導的地位にいたフィル・バーガーが共和党予備選挙で[敗れたようだ](#)。これは有権者の怒りの反映と言われる。バーガーの敗北によって、共和党の選挙資金調達と秋の上院議員選挙の展望に大きな影響を及ぼす可能性がある。秋の選挙戦本番では、先週の議会抗議活動で骨折した[退役軍人](#)で緑の党のブライアン・マクギニスも出馬する予定で、激しい選挙戦になる模様である。

## その他の国際ニュース

\*スーダンのコルドファン州の市場へのドローン攻撃で、少なくとも33人死亡：[AFP通信](#)によると、スーダンの西コルドファン州のアル・ザバドとワド・バンダの2つの市場がドローン攻撃を受け、少なくとも33人が死亡し、59人が負傷した。これは、民兵組織即応支援部隊(RSF)の支配地域を標的にした攻撃である。

**\*スーダン軍のブルハン司令官、イラン支援を表明するなど命令：**スーダン・トリビューン紙によると、スーダン軍のアブデル・ファッターハ・アル・ブルハン司令官は、軍とともに戦うイスラム主義勢力に対し、湾岸紛争でイランを支持する発言をするなど命令し、いかなるグループもスーダン国やスーダン軍を代表するような発言をするべきでないと述べた。イラン支持発言は、スーダンと良好な関係にある湾岸諸国、とりわけスーダンの主要な支援国であるサウジアラビアとの関係を損なう恐れがあると懸念するからである。

**\*ナイジェリア軍、盗賊集団と戦闘で45人殺害：**[ロイター通信](#)によると、7日、ナイジェリア北部のカツィナ州ダンムサ地域で、盗賊団とナイジェリア軍が衝突、盗賊45人が死んだ。5日、隣接するザムファラ州から武装集団がムサワ郡アルハザワ村に侵入し、牛を盗もうとした。彼らは翌日もやってきて、マイダビノ地区近くのダン・アリにある軍の前方作戦基地に駐留する兵士と遭遇し、銃撃戦となった。この戦闘で、ナイジェリア軍大尉と兵士2人が死亡した。

**\*ロシアのミサイルとドローンによる攻撃で、ウクライナで少なくとも12人が死亡：**[AFP通信](#)によると、7日早朝、ロシアはウクライナ全域にミサイルとドローンの大規模攻撃を行い、少なくとも12人のウクライナ人が死亡、12人以上が負傷した。ゼレンスキー大統領は、ロシアがミサイル29発とドローン480機を発射し、エネルギー施設と鉄道インフラを標的にし、ハリコフの5階建てアパートが破壊されたと言った。ハリコフでは子ども2人を含む10人が死亡した。

**\*コロンビア議会選挙で左派連合が勝利：**コロンビアの[議会選挙](#)で、左派連合「ヒストリック・パクト」が400万票以上を獲得し、議会における存在感を高めた。この結果は、5月31日に予定されている大統領選挙を前にして、退任するグスタボ・ペトロ大統領の支持者にとっては追い風である。大統領選挙では、ヒストリック・パクトのイバン・セペダ・カストロ候補が強硬保守派のアベラルド・デ・ラ・エスプリエラを世論調査でリードしている。しかし、今回の選挙で議会は勢力均衡となり、どちらも過半数を取ることはないだろう。